

平成 30 年 4 月定例記者会見

【4 月 2 日(月)午後 1 時／4 階特別会議室】

会見項目

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1 「道の駅たろう」グランドオープンについて | (田老総合事務所) |
| 2 第 37 回さけ稚魚壮行会について | (観光課) |
| 3 第 5 回藤田弘基写真コンテストの実施について | (新里総合事務所) |
| 4 平成 30 年度宮蘭フェリー関係事業について | (港湾振興課) |

会見内容

別紙資料 1 ～ 4 のとおり。

記者との質疑

NHK 記者

資料 2 の「さけ稚魚壮行会」について、昨シーズンまで不漁が続く中で、今回の放流尾数に変化はありましたか。今後において尾数の確保に問題ないですか。

市長

昨年と同じ尾数を放流します。今年は津軽石の孵化場から持ってきますが、平成 28 年の台風で被害のあった松山の孵化場も復旧しますので尾数は確保できます。

NHK 記者

資料 4 の「宮蘭フェリー」について、フェリーターミナルの完成セレモニーの予定はありますか。地元の盛り上がり、民間の動きはどうか。

市長

フェリーターミナルは 6 月 1 日に県主催の落成式があります。フェリー就航にかかる盛り上がりという点については、伊達市の道の駅に宮古の産品が置かれたり、有志による観光創生会議で旅行商品の提案を検討していたり、シネマデアエルが映画を通じた交流をしたりと広がりを見せています。

読売新聞記者

フェリー就航日に向けてカウントダウンのイベントを行ってきましたが、今後の予定はいかがですか。

市長

100 日を切ったので、今後は毎日カウントダウンをして周知していきたいと思っています。

朝日新聞記者

フェリーターミナルへのアクセス整備はどの程度進んでいますか。また、フェリーの船内を取材させてもらう機会はないでしょうか。

市長

県北バスで検討中と聞いていますし、タクシーはターミナル前で客待ちをするなどの対応を取ると思います。八戸ー苫小牧間の船を転用するので、船のお色直しや補修、その後の習熟訓練、就航前準備を考えると船内の取材は難しいかもしれませんが、希望に沿うように船会社に交渉してみます。

読売記者

ターミナルには市内の業者がテナントに入るのでしょうか。

市長

今の時点では市内の業者がテナントに入る予定はありません。入りたいという業者があれば入っていただいて構いません。ただ、朝6時から8時までの数時間しか客入りを見込めませんのでそのあたりがどうなのかなと…。

岩手日報記者

朝早い時間帯となる見送り式、出迎え式で想定している人数と、人を集めるための周知の方法を教えてください。

市長

人数の想定はこれからになりますが、広報紙のほかインターネットツールなどでも周知します。県内初のフェリー航路でもありますので、県にも周知の協力をしていただきたいと思います。

朝日新聞記者

リアス線の開業予定日が決まりました。利用者をどう増やすかが大きな課題になると思いますが、市庁舎が駅前に移転しますので、市職員が積極的に利用するように呼びかけのほかに何か考えていますか。

市長

駐車場が周囲にありませんので必然的に鉄道やバスを利用する職員が増えると思います。規制までは考えていませんが、率先して公共交通機関を使うべきと考えます。

朝日新聞記者

東日本大震災後に建てた応急仮設住宅について、入居者の退去が完了したときは、建物の再利用を考えていますか。

市長

7年経過して建物も基礎もだいぶ傷んでいますので、再利用は難しいと考えています。土地は原状に戻すのが原則となっています。

資料 1 「道の駅たろう」グランドオープンについて

趣旨・目的	道の駅たろうは、田老地区の再生・創世に向けた住民活動の交流・連携、三陸ジオパークのゲートウェイとして、「観光」「産業」「防災」をはじめ、地域の情報発信の拠点と位置づけ、整備を進めてきたもの。 このたび、関係各位の絶大なるご支援とご協力によりグランドオープンすることから、その完成を記念するとともに「道の駅たろう」について情報発信するため、グランドオープンイベントを開催する。
日時	4月7日(土) 午前10時～午後4時
場所	道の駅たろう敷地内
主催	宮古市、道の駅たろう連絡協議会
内容	■イベントの内容【11:00～15:00】 11:00～ 田老一中太鼓演奏 11:10～11:40 記念式典・餅まき 11:50～12:20 黒森神楽演舞 12:30～12:50 ^{とんじる}豚汁を無料でお振る舞い（無くなり次第、終了） 12:50～13:20 MDSダンスステージ 13:30～13:50 アンダーエイジによるお笑いライブ 14:00～15:00 小田代直子 & ^{しんぶう}神風宮古 ^{りゅうせいかい}流星海のステージショー ■出店【10:00～16:00】 たろちゃん協同組合、(株)川井産業振興公社（道の駅・区界高原）、キッチンカー4台が出店
特記事項	◎津波遺構・たろう観光ホテルの一般公開も実施【12:00～15:00】。入場無料。事前申し込みも不要。 ◎道の駅たろうは、水産物の直売や6次産業化による漁業の復興・再生の拠点として、平成28年1月27日、国土交通省が選定する重点「道の駅」に選定されている。
問い合わせ	市田老総合事務所 地域振興係（☎87-2971）

資料２ 第３７回さけ稚魚壮行会について

趣旨・目的	宮古市では鮭を市の魚と制定し、鮭に象徴される豊かなまちづくりを目指して「サーモンランド宣言」を行っている。 この背景をもとに、市内の小中学校の生徒、保育所・幼稚園等の園児及び市民による鮭の稚魚放流を実施する。数年後の鮭の回帰を願いながら鮭に関する知識と環境保全意識の向上を目的として行う。
日時・場所	４月１７日（火）午前１０時（津軽石川河川敷会場） ４月１８日（水）午前１０時（閉伊川スポーツ公園）
主催	宮古鮭祭実行委員会
内容	■参加対象者 主な対象は、市内の小中学校の生徒、保育所・幼稚園等の園児であるが、市民のほか、だれでも参加できる。 ■参加予定数 小中学生の児童・生徒 ３７５人 保育所・幼稚園などの園児 ２４５人 ■放流尾数 津軽石川河川敷会場 ５０，０００尾 閉伊川スポーツ公園 １００，０００尾
特記事項	◎雨天の場合は中止とする。 ◎参加者は各自、ゴム長靴の準備が必要となる。
問い合わせ	市産業振興部 観光課（☎６８－９０９１）

資料3 第5回藤田弘基写真コンテストの実施について

趣旨・目的	写真家・藤田弘基 ^{ふじたひろき} 氏の功績を顕彰するとともに、宮古市の自然の素晴らしさをアピールすることを目的とし「藤田弘基写真コンテスト」を実施する。
期間	募集期間 5月1日(火)～10月31日(水)
主催	藤田弘基写真コンテスト実行委員会
内容	■テーマ：宮古市の豊かな自然、それに関わりながら生活する人の優しさ、強さ、または自然とともに生きる喜びを表現した作品をテーマとする。 (宮古市内において平成29年1月以降に撮影されたものに限る) ■サイズ：四つ切(ワイド可)でプリントしたもの。1人5作品まで。 組写真の場合は1作品3点以内(左から並ぶように構成のこと)。 ■表彰：藤田弘基賞1点、優秀賞3点、奨励賞7点…賞金・賞状・副賞佳作12点……………賞状・副賞 (入賞は、1人2点まで) ■審査会：平成30年12月上旬。審査員は写真家の水越^{みずこしたけし}武氏。 ■表彰式：平成31年1月中旬の予定。 ■その他：入賞作品は、新里生涯学習センター、市立図書館などで展示。
特記事項	◎前回(第4回)は、151点の応募があった。 ◎前回(第4回)の入賞作品を大型連休中、市立図書館に展示する。 期間＝4月28日(土)～5月6日(日) ※休館日(5月1日(火))は除く 時間＝午前9時～午後5時 場所＝市立図書館 2階展示室
問い合わせ	藤田弘基写真コンテスト実行委員会事務局 (新里総合事務所 地域振興係内 ☎72-2111)

資料 4 平成 30 年度宮蘭フェリー関係事業について

趣旨・目的	平成 30 年 6 月 22 日就航の宮蘭フェリーの航路周知や利用促進、市民交流を深めることを目的とする。
日時	【就航日】 6 月 22 日 (金)
場所	出入港は、藤原ふ頭 F 10 バース (フェリーターミナル前)
実施者	宮古港フェリー利用促進協議会、宮古市
内容	■フェリー利用促進協議会が実施する関連事業 6 月 22 日 (金) 午前 8 時出港 第 1 便見送り式 フェリーターミナル壁画除幕式 6 月 23 日 (土) 午前 6 時入港 第 1 便出迎え式 宮古・室蘭交流物産展 (シートピアなあと) ◇【7 月】むろらん港まつり出展 ◇【10 月】宮古の観光・物産 P R (室蘭市内) ほか ◇フェリー就航イヤー記念品等作成 ◇航路周知宣伝広告 ■市が実施する関連事業 ◇就航記念市民号運行補助 ◇宮蘭商談会開催費用補助 (6 月下旬～7 月予定) ◇フェリー航路誘客促進事業補助 ◇室蘭市交流事業 (8 月 2 日～4 日) ◇室蘭市文化交流事業 (7 月 14 日～9 月 30 日)
問い合わせ	市産業振興部 港湾振興課 港湾振興係 (☎ 68-9093)